

6/3

いきいき笑顔がはじけるまつり ～第9回荒尾市健康福祉まつり～

▶体力アップ体操の実演。参加者の表情も真剣そのものです。



今年で9回目になる健康福祉まつりは、文化センターで開催され、およそ3,500人が訪れました。大ホールでは保育園や市民団体が歌や踊りを披露。記念講演ではタレントの英太郎さんが「笑いは元気の源」をテーマに、会場を笑いで満たしました。また、保健医療福祉功労者として、和田幸弘さん、平川恵子さん、荒尾木工組合が表彰されました。無料検診や相談・体験コーナーなどには列ができ、訪れた人たちの健康と福祉への関心の高さが感じられました。



1 出演者の元気が会場を満たしたアトラクション。2 朗読サークルあらお・手話サークルわかぎ・ハーモニカ愛好会のコラボレーションによる朗読「ごんぎつね」。多くの人が聞き入っていました。3 介護の現場を知る英太郎さんが、モノマネも交えながら講演。会場は笑い声に包まれました。

3

6/10・11

一年間の学びの成果が花開く

～ふれあいエポック・荒尾まつり～

▶コースターづくりの体験コーナー。参加できるのも楽しみの一つです。



ふれあいエポック・荒尾まつりは、働く女性の家と中央公民館で行われました。

エポック・荒尾の自主サークルなどの受講者が学んだ成果を発表するまつりです。10日は、ステージ発表と茶会、食品バザーが行われました。10日～11日にわたってはフラワーアレンジメントや書道、絵画、編み物などの手芸作品などが展示されました。2日間とも多くの方が訪れ、受講者の日頃の取り組みの成果を楽しみました。

6/2

花菖蒲と地域のふれあいを満喫 ～第4回助丸区花菖蒲祭り～

▶花菖蒲が背景に広がる舞台でのステージ発表も盛り上がりました。



助丸区花菖蒲園で、花菖蒲祭りは開催されました。助丸区菖蒲愛好会が主催したこの祭りは、休耕田を活用して植えられた花菖蒲が咲きそろう6月上旬、毎年開かれています。

祭りはステージ発表のほか、バザーや健康相談、花菖蒲の切り花の販売などが行われました。花菖蒲園前のステージでは、地域の人によるフラダンスや踊り、荒尾太鼓が披露されました。地域の人々の熱演に、見学者は盛んに拍手を送っていました。

6/9

有明優都戦略事業 おもてなしの心でまちを花で飾ろう ～宮内一東屋形、市民病院前で花植え～

▶手際良く花を植えながら、たくさんの人と会話にも花が咲きました。



宮内交差点から東屋形方面へ1.8kmあまりの区間と市民病院通りに、ガザニアなどの花の苗をおよそ2,800株植えました。地域の人など80人あまりが参加し、近所の人や親子で会話を楽しみながら仲良く取り組んでいる様子は、通る人を和ませました。

この花植えは、定住しやすい環境づくりの一環として行われています。訪れた人に荒尾の魅力の1つとじてもらえるようにと、道沿いの店舗や住民と一緒に取り組んでいました。

寿

100歳、おめでとうございます！



江上茂雄さん
(万田中)

江上茂雄さんは、6月18日に100歳の誕生日を迎えました。前畑市長から記念品を贈られ、祝福を受けて笑顔がこぼれました。

楽しみは水彩画や木版画で、荒尾・大牟田の風景を描くことです。長生きの秘訣は、「体が弱かったので、酒・タバコはたしなまず、暴飲暴食しなかったこと」なのだそう。

6/15

手摘みのお茶を召し上げ

～府本小学校児童が市長を訪問、茶を贈呈～

▶香り高い自慢の新茶を飲みながら、会話も弾みました。



府本小学校の児童代表として、6年生の井上亮我さん、中川勝太郎さん、小柳友莉菜さんが、5月8日に府本小学校で摘んだ茶を、前畑市長に届けました。

同校には50aの茶畑があり、今年は35kgの新茶が採れました。茶は、毎年児童が茶摘みをして、老人会や保護者に配っています。3人は、前畑市長と新茶を味わいながら、茶摘みの方法などを写真で説明しました。また、笑顔で「府本小の自慢のお茶です」と話しました。

荒尾市制施行70周年記念事業

70文字の愛ことば

あれから70年
わが郷土荒尾と母の大きな愛に育まれ
今は妻のやさしい愛に包まれ
子供2人孫6人 幸せ家族に恵まれました
“ありがとう”をあなたに贈ります

妻・和子へ

吉川周明さん(桜山町3丁目)

●70文字で、あなたの「愛ことば」を大切な人に伝えませんか。(ペンネームでもかまいません。(応募する場合は、作品と一緒に本名・住所・年齢・電話番号を書いてください。掲載時にご連絡します)
「応募先」〒864-8686 (住所不要)
荒尾市役所秘書広報課広報係(メールでも可)
TEL 63・11157 FAX 63・11145
Eメール kochi@city.arao.lg.jp